



国民スポーツ大会「SAGA2024」は7日、佐賀県で16競技を行った。青森県勢は、レスリング女子62キロ級で類家直美（長者中出、レスター）が連覇を達成。自転車女子チームスプリントは松下彩也香（八学大）・室谷榎音（青森商高）組が同種目で県勢初の頂点に立った。

ボウリング少年女子個人の中村結依（千葉高）は予選4位で決勝に進出。卓球成年女子は岐卓に競り勝って準々決勝へ、フェンシング成年男子フルーレは2回戦を1勝1敗として3回戦へ、パドミントン少年女子は準決勝で敗れて3位決定戦へそれぞれ進んだ。八学光星高とウルスラ高の選手が臨んだゴルフの少年男子団体は

15位だった。パドミントンの少年男子は準々決勝で負け、7人制のラグビー成年男子は予選敗退した。8日は佐賀県で14競技を行う。（桑田友人、金濱千優希）  
＝記録は青森県、岩手県北関係分

# 自転車女子チームスプリント 松下(八学大)・室谷(青森商高) V、レスリング女子62キロ級 類家(長者中出) 連覇

**自転車**

▽佐賀県オッズパーク武雄  
▽男子Aケイリン敗者復活戦  
「4組」②小笠原光（白大）  
▽男子Aスプリント1回戦  
「7組」②下田睦恭（東北学院大）  
▽男子Aスクラッチ予選  
「2組」木田竜聖（八戸学院大）  
▽途中棄権  
▽男子Bケイリン敗者復活戦  
「2組」①久慈彪翔（八戸工高）11秒976  
▽準決勝進出  
▽男子Bポイントレース予選  
「1方」6000秒  
▽男子チームスプリント3位決定戦  
①東京1分16秒340  
②静岡1分17秒012  
▽男子チームスプリント決勝  
①石川（田賀、白井、山下）1分16秒415  
②愛媛1分16秒772  
▽男子チームスプリント順位  
①石川（田賀、白井、山下）  
②愛媛③東京  
▽男子4000メートル団体追い抜き3位決定戦  
③愛媛4分20秒750  
④佐賀4分26秒508  
▽男子4000メートル団体追い抜き決勝  
①大阪（矢萩、大仲、松井丈、河村）4分18秒975  
②京都4分19秒610  
▽男子4000メートル団体追い抜き順位  
①大阪（矢萩、大仲、松井丈、河村）  
②京都③愛媛  
▽女子スプリント1回戦  
「3組」①松下彩也香（八戸学院大）12秒897  
▽準々決勝進出  
▽女子チームスプリント3位決定戦  
③宮崎58秒4110  
④福井58秒786  
▽女子チームスプリント決勝  
①青森（室谷、松下）58秒538  
②福岡59秒322  
③女子チームスプリント順位  
①青森（室谷、松下）  
②福岡③宮崎

## 松下、室谷息ぴったり



【自転車女子チームスプリント決勝・青森一福岡】青森は松下彩也香（左）・室谷榎音組が58秒538で先着し、優勝を決めるニオッズパーク武雄

## 最初で最後 最強タッグ

自転車女子チームスプリントで、1カ月前に3日間練習したのみのコンビが青森県勢初の頂点に立った。決勝に臨んだ松下彩也香（八学大）と室谷榎音（青森商高）は58秒538のタイムで優勝。2人は「ホッとしている」と安堵の言葉を口にした。

選手間のレベルの近さが要となる女子団体戦で、青森は長く上位に手が届かなかった。今年はインカレスプリント3位の松下に、多くの高校タイトルを保持する室谷がそろい、コート陣からは「調子が良ければ行ける」との声があった。

もくろみは当たった。9月中旬の強化合宿で合わせると「これがチームスプリントか」と思い、楽しかった」（室谷）。今大会も息の合った走りですべて予選トップのタイムをたたき出した。

ただ「決勝の福岡と予選でタイム差が少なく、接戦になると思ってた」と松下。路面はぬれて好タイムは期待できない状況となり、あがり症という室谷は「インターハイの緊張していた」。走り始めれば無用の心配だった。1走松下が安定した走りですピードに乗ると、2走室谷はぐいぐい加速。ハンク上空の雨雲を晴らすかの如き快走で、2人にとって初の国スポの栄冠を手にした。

宮崎市出身で卒業後はガールズスケイリンの選手を目指す松下と大学に進んで競技を続ける室谷のタッグは今回が恐らく最初で最後だ。レースを終えて「この後にある個人戦でも表彰台に上りたい」と異口同音に話した2人。育った場所も歩む道のもの異なるが、背には同じ輝きを宿していた。（桑田友人）

